

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和元年12月26日更新

事務事業名	学校施設保守事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	3	教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名	岩間 美咲希
	施策の柱	36	義務教育施設の整備	所属班	総務施設班	(内線)	5313
予算科目	会計一般	款10	項1	目2	事業連番10718	根拠法令	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	市内全小中学校施設を適正に維持するための各種委託業務を行う事業。(校舎・体育館等清掃及び樹木剪定等)施設の保守業務として外部委託により実施している。
【業務の流れ】	例年の業務内容に、学校からの要望を加味し、業者の手配・完了検査・代金の支払い等の業務を行う。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	特別にはない。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	市内全小中学校施設を適正に維持するための業務を委託した。(校舎・体育館等清掃、樹木剪定、除草作業、プール機械保守)	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)件	予算の主な増減の理由
→ア:業務数	→イ:	樹木の剪定範囲増加による増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市内小中学校施設、施設利用者	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位)校
		→ア:学校数
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	学校施設を適正な状態に保つ。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位)校
		→ア:業務を行った学校数
		→イ:全学校の中で維持業務を行った学校数の割合
		%
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
保守委託業務を行い、学校施設を適正に維持するため。		全体計画
		～年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込	
①活動指標	ア 件		4	4	4	4	4	4	4	4	
	イ										
②対象指標	ア 校		10	10	10	10	10	10	12	12	
	イ										
③成果指標	ア 校		10	10	10	10	10	10	12	12	
	イ %		100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	13,324	14,477	19,520	13,587	21,713	30,148	36,178	36,178
		(A)事業費計	千円	13,324	14,477	19,520	13,587	21,713	30,148	36,178	36,178
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	2	3	2	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	190	140	100	140	100	100	100	100		
(B)人件費計	千円	0	553	398	551	398	398	398	398		
トータルコスト(A)+(B)	千円	13,324	15,030	19,918	14,138	22,111	30,546	36,576	36,576		

事務事業名	学校施設保守事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 学校施設の保守業務として外部委託により実施する予定である。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 学校施設の保守業務としては、現状維持が妥当である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 学校施設を管理するうえで必要である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 類似する他の公共施設と一緒に発注するなどにより、経費の削減は可能。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で対応しているので、余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 学校全体にかかるものであり、また、市内全学校施設を実施している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 専門性のある業務であるため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

保守委託業務を行い学校施設を適正に維持することができた。(校舎・体育館等清掃・樹木剪定・除草作業・プール機械保守)

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						